

Library News

NO.7 川口市立高校 2024年度 12月号 2年次図書委員



FACTFULNESS(ファクトフルネス) – 10の思い込みを乗り越え、 データを基に世界を正しく見る習慣

10の思い込みを乗り越え、
データを基に
世界を正しく見る習慣

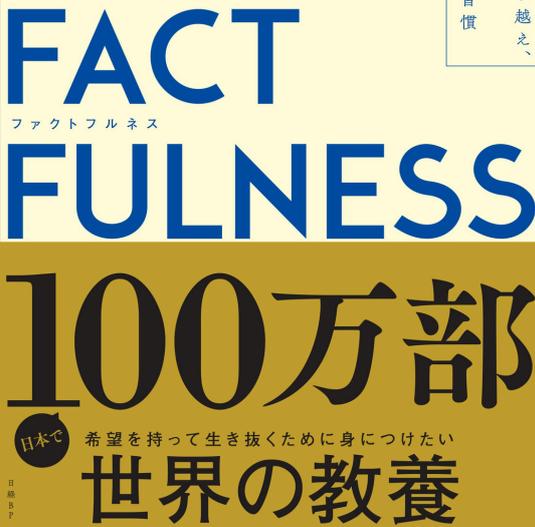
ハンス・ロスリング、
オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド 著
上杉周作、関美和 訳

著:ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、
アンナ・ロスリン

訳:上杉周作、関美和

出版社:日経BP

ファクトフルネスとは、「事実やデータに基づき、正しく世界を読み解く」ことです。人間は最新の情報にアクセスできる環境にしながら、本能や思い込みに影響を受け、ありのままの世界を正しく理解していないケースが多々あります。その問題の解決策として、スウェーデンの医師・公益衛生学者のハンス・ロスリングとその息子夫婦がこの本でファクトフルネスを提唱しています。皆さんもぜひこの本を読んでファクトフルネスについて知り、世界を正しく見る習慣を身につけましょう！



「死」とは何か イェール大学で23年連続の人気講義 完全翻訳版

著:シェリー・ケーガン

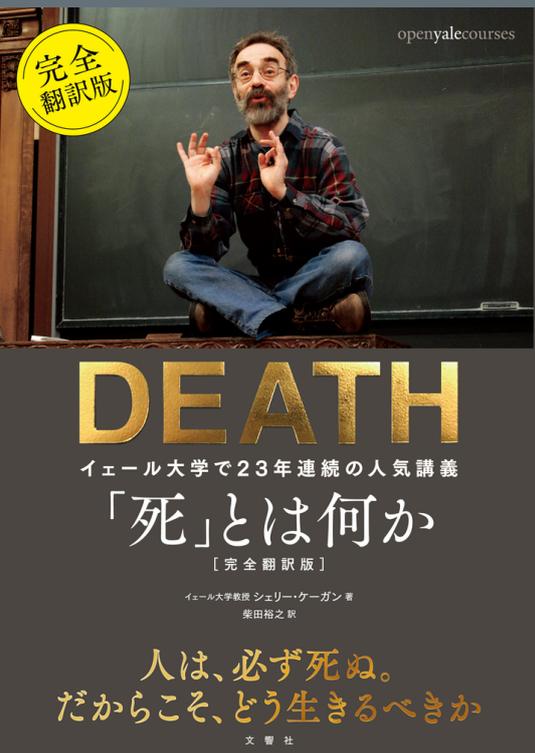
訳:柴田裕之

出版社:文響社([HTTPS://BUNKYOSHA.COM/](https://bunkyosha.com/))

人は必ず死ぬ。

だからこそ、どう生きるべきか

この本は、道徳哲学・規範倫理学の専門家として知られているイェール大学の教授、シェリー・ケーガンが23年も行っている人気講義をまとめた1冊となっています。内容は「死に直面したときの精神論」ではなく、そもそも「死」とは何なのか？との根本的な疑問について、ケーガン教授が自ら投げかけた問いを考察していきます。余命宣告をされた学生が、「命をかけて」受けたいと願ったという伝説もある、そんな世界最高峰の「死」の授業をお楽しみください！



表紙の画像は出版社の許可を得て掲載しています